

OSAKA  
DENTAL  
UNIVERSITY



大阪歯科大学広報

# NEWS

No.

136

2004. Dec

《 目 次 》

・副学長に川添教授・中村教授が就任 ……3	・平成16年度 教職員懇親旅行 ……8
・平成16年度 実験動物慰霊祭 ……3	・「新潟県中越地震」被災者救援金報告 ……12
・西日本私立大学振興協議会第36回例会 ……3	・平成16年度 第6学年父兄会開催 ……12
・第12回大阪歯科大学公開講座 ……4	・平成16年度 教職員忘年懇労会 ……12
・第36回大学祭 ……4	<b>&lt;トピックス&gt;</b>
・平成16年 秋の叙勲受章者 ……4	・大阪歯科大学歯科衛生士専門学校
・平成16年度 自衛消防訓練 ……5	牧野校舎竣工式 ……13
・学術交流協定書図書館に展示 ……5	・大阪歯科大学歯科技工士専門学校
・大阪歯科大学「現状と課題」新版刊行 ……5	創立40周年記念行事開催 ……14
・来年度予算一律5%削減へ ……6	・西安第四軍医大学創立50周年記念式典
・平成17年度から教員も雇用保険加入へ ……6	参加と「第306医院」招聘訪問 ……15
・平成16年度 経常費補助金概算交付 ……6	・人 事 ……16
・寄 贈 ……7	・雑 報 ……17
・学位（博士）授与報告 ……7	・あとがき ……17



式辞を述べる佐川寛典理事長「歯科技工の技術開発こそ、国民の望む先進医療である」  
大阪歯科大学歯科技工士専門学校創立40周年記念式典（平成16年11月13日）

副学長に川添教授・中村教授が就任

平成16年11月1日(月)付けで、本学副学長に有歯補綴咬合学講座の川添堯彬教授と歯科理工学講座の中村正明教授が就任した。両教授とも、法人理事を兼任している。

平成16年度 実験動物慰霊祭

平成16年9月24日(金)午後2時40分から、平成16年度実験動物慰霊祭が、雨天により予定を変更して牧野の清岸寺において執り行われた。

多数の教職員、大学院生および学部学生が参列するなか、導師の読経が始まり、歯科医学の教育・研究のためにその身を捧げた動物たちの冥福を心より祈り、順次焼香を行った。

慰霊祭の最後に、川合教授から「世界的な動向に鑑み、本学においても動物を用いての実験は、関連する各種委員会において厳密な審査のもとに行われております。学生諸君も犠牲となった動物たちの命の尊さを忘れることなく、今生きる動物たちを温かく扱う真摯な気持を持ち続ける心を育んでいってほしい」との挨拶があり、参列者一同、動物たちの御霊に対し、今一度合掌した。

上記のとおり、平成16年度実験動物慰霊祭は恙無く終了した。

西日本私立大学振興協議会第36回例会

西日本私立大学振興協議会第36回例会が、平成16年11月26日(金)午後1時30分よりリーガロイヤルホテルで開催された。昨年に引き続き本学が代表幹事校として例会の運営にあたった。参加者は21校30名と昨年より少なかったが、本学からは佐川理事長、今井学長を始め6名が出席した。

例会は、上田大学事務部長が司会進行を務め、今井学長の開会の挨拶で始まり、田中法人事務部長の議長

により議題はすべて本案どおり承認された。例会終了後、佐川理事長の座長により、わらじ医者よろず診療所所長の早川一光(かずてる)先生の講演「人間ってね」一臨床医から見た生、老、病、死」が開催された。

早川先生は、昭和23年京都府立医科大学を卒業後、京都に居を構え、堀川病院理事長、美山健康会理事長等を歴任し、現在はわらじ医者よろず診療所を開設しておられる。一貫して地元京都の地域医療に携わり、その発展に寄与されてこられた方である。NHKの連続小説「とおoryんせ」の原作となった『わらじ医者京日記』を始め著書も多数出版されている。講演では、「笑い」と「ボケ」との関係の臨床医としての経験にもとづきユーモアを交えて話された。そう、よく笑う人はボケにくいのです。

講演会終了後、懇親会が開かれ、次期代表幹事校に選出された京都女子大学から挨拶があり、2年間にわたる本学の任務も無事終えることができた。

私立大学振興協議会 第36回



例会で挨拶する今井学長



ユーモアを交えた講演・早川一光先生

第12回大阪歯科大学公開講座

平成16年8月21日から9月11日まで、毎土曜日の午後2時から附属病院の5階臨床講義室で、第12回大阪歯科大学公開講座天満橋講座が開催された。

今回は「ミドルエイジと健康」がメインテーマで、中高年者と健康とのかかわりについて様々な角度から解説がなされ、多くの市民が聴講した。なお、来年2月には、楠葉学舎において枚方講座が開催される。

第12回大阪歯科大学公開講座  
メインテーマ「ミドルエイジと健康」

開催日	演 題	講 師
8月21日	東洋医学と健康	歯科麻酔学 方 一如
8月28日	肥満と食生活	生化学 塩路伊佐子
9月 4日	薬との上手な付き合い方	薬理学 篠原光子
9月11日	口の健康は自分の手で	口腔診断科 辻一起子



満員の聴講者を前に講演する辻一起子講師

第36回大学祭

楠葉学舎に移転して8年目を迎えた大学祭は、小雨交じりの天候の中挙行された。2週間早く開催された体育祭は澄み切った青空の下牧野学舎で、また、大学祭は「楠葉祭」と名づけられ、地域社会に開かれた大学として多彩な企画で行われた。

日 程

- ・ 体育祭：10月16日(土)
- ・ 楠葉祭：10月30日(土)・31日(日)
- ・ テーマ：「-Message-」

体育祭当日は曇一つない晴天の下、本学学生・学年指導教授・助言教員・学友会関係者および本学専門学校の学生が多数参加し、国旗掲揚ならびに国歌斉唱の後、大学祭大会会長今井久夫学長の代理として新池学生部長の挨拶で開始された。大会役員挨拶や歯学体関係の表彰式の後、クラブ対抗リレー、綱引きなどの競技、体育系クラブ紹介と続き、本学伝統の『みこし』で締めくくられた。夕闇が迫る頃、多数の6年生が「ファイヤーストーム」を囲み学生生活最後の体育祭を満喫した。

一方、楠葉祭は各クラブの工夫により、焼き鳥、焼きそば・お好み焼き、フランクフルト、たい焼きなど18種類もの模擬店が賑やかに催され、学生・教職員を始め地域住民の方々も含めた交流の場となり、毎年ながら好評であった。また、附属病院総合医局会は、「歯科大学病院の写真展」を、ドイツ語研究会は解剖学講座の協力を得て「解剖展」を、さらに本年8月にシドニー大学に訪問研修した学生達が「シドニー訪問展」を開催し、それぞれの活動を見学者や学生達に紹介していた。2号館では、医局会医員の指導により歯科大学としての特色を生かした企画として、病院生や歯科衛生士専門学校の生徒による「無料歯科相談」や「ブラッシング指導」も実施され、近隣住民が多数参加した。

講堂では、学芸系クラブの邦楽部や管弦楽団部、軽音楽部が日頃の練習の成果を発表した。また、連日開催された芸能人ステージでは、テレビ・ラジオで活躍中の若手漫才師7組が集合し、トークショーが盛大に披露された。

平成16年 秋の叙勲受章者

平成16年秋の叙勲者として大阪歯科大学関係の先生方が、以下の通り受章されました。

叙 勲

専門 32 回	中村 哲	高知県	旭日双光章
専門 32 回	畑佐 稔	岐阜県	瑞宝双光章
大学 2 回	西田 昭二	和歌山県	旭日双光章
大学 3 回	井笹 慶一	愛媛県	旭日双光章
大学 4 回	嶋村 克美	京都府	瑞宝双光章
大学 5 回	岡村親一郎	大阪府	瑞宝双光章

平成16年度 自衛消防訓練

11月15日(月)午後4時から、楠葉学舎自衛消防訓練が枚方東消防署署員4名・消防車1台の立会いのもと、今井消防隊長以下100名の教職員の参加を得て行われた。

訓練は、4号館1階学内食堂厨房から出火したとの想定で、火災発生を連絡する通報訓練から始まり、避難誘導訓練・警戒訓練・搬出訓練・工作訓練・救助訓練を同時に行い、全員の避難を確認した後、水消火器と消化ホースを用いた初期消火訓練を実施した。

訓練後の消防署からの講評では、避難の様子が落ち着きすぎていて緊迫感に欠けるとの指摘があり、訓練にあたってはより多くの人が実際に消火設備に触れることが大切であるとの見解が示された。今後、一人ひとりが積極性をもって訓練に取り組むことが求められる。最後に、消防隊長からの訓話として、平生より人生の“まさか(坂)”に備えて防火管理に心懸け、相互の連携を密にするよう注意が促された。

なお、牧野学舎でも同日、天満橋学舎では11月19日(金)に自衛消防訓練が実施された。



消化ホースによる初期消火訓練

学術交流協定書図書館に展示

去る7月22日、本学とコロンビア大学との学術交流協定が正式に調印されたが、その協定書を始め本学がこれまで海外の大学と締結した学術交流協定書が図書館に展示されています。

これは「本学の国際学術交流活動について教職員、学生、来客者に理解を深めてもらう」ために、国際学術委員会委員長の諏訪教授から図書館に展示依頼があり、実現したものです。展示場所は3階の貴重図書室前で、特製の展示ケースが設置され、いつでも協定書が閲覧できます。図書館に行かれたときは、一度ご覧になってください。

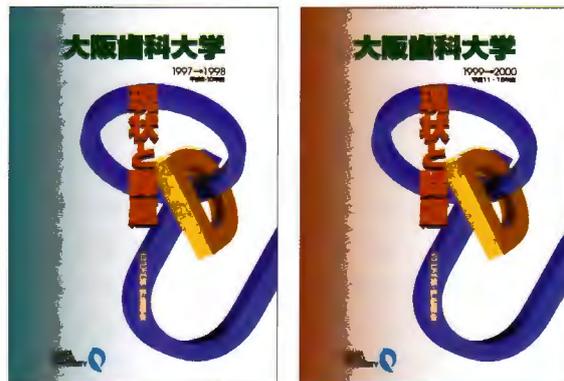
現在、海外の大学との学術交流協定は4カ国、8大学と結ばれている。

学術交流協定締結校と締結年	
上海第二医学院(現・上海第二医科大学)	1981
広州第一軍医大学	1996
シドニー大学歯学部	1996
四川大学華西口腔医学院(旧・華西医科大学)	1996
西安第四軍医大学	1996
北京大学口腔医学院(旧・北京医科大学口腔医学院)	1996
慶熙大学歯学部	2000
コロンビア大学	2004

大阪歯科大学「現状と課題」新版刊行 (平成9/10年度・平成11/12年度)

この度、大阪歯科大学の自己点検・評価報告書である「現状と課題」平成9・10年度と平成11・12年度がまとまり、2冊同時に刊行された。

「現状と課題」は、平成4・5年度版がはじめて刊行されてから、今回が第4号と第5号になる。本学の現状が、教育研究を中心にそれを支える組織、財政等が基本データに基づき分析されている。



大阪歯科大学「現状と課題」新版の2冊

来年度予算一律5%削減へ

10月19日に開催された第1回予算委員会において、「本学の厳しい財政状況を考慮し、経費の一律5%削減を重ねて要請すること」が決議された。今年度に続く5%削減で事務部署は各課とも、来年度の予算編成に苦慮している。事務各課との予算折衝は12月初旬に行われる。

平成17年度から教員も雇用保険加入へ

平成17年4月1日より、これまで未加入であった雇用保険に教員も加入することが理事会で決定された。本来、事業所と雇用関係にある労働者は雇用保険に加入することが義務づけられているが、教員については失業が生じにくい等の理由により例外的な扱いがされてきた。今年4月に独立法人化した旧国立大学では、教員は身分的に公務員ではなく、すべて雇用保険に加入している。一方、私立大学の教員の80%は雇用保険未加入と言われており、少子化等の社会情勢の変化に伴い問題化してきている。今回、大阪労働局の加入勧奨指導もあり、来年度から教員も雇用保険に加入することが決定された。

平成16年度 経常費補助金概算交付

11月26日付けで日本私立学校振興・共済事業団より、平成16年度私立大学等経常費補助金概算交付の通知があった。補助金額は、137,581,000円で昨年とほぼ同額である。今回は平成16年度第1回目の交付で、3月末に第2回目の交付がある。同補助金は、私立大学等の教育条件の維持向上および在学生の経済的負担の軽減ならびに経営の健全化等に寄与するため、同事業団が国から補助金の交付を受け、これを財源として一定の評価基準に基づき大学等を設置している学校法人に交付されるものである。補助金には、教職員の人件費および教育研究経費を対象

とする「一般補助」、生涯学習や学習方法の改善等に対応した「特別補助」ならびに平成14年度から実施されている文部科学省が直接執行する「教育研究高度化推進特別補助」がある。

今回の補助金の交付は、一般補助のうち教職員の人件費等にかかわる経費に対するものである。

私立大学等経常費補助金一般補助のしくみ

1. 経常的経費の算定

大学が1年間に消費する経費、具体的には教職員の人件費、教育研究経費等について7項目に分け、それぞれの標準経費(×人数)に基づき、経常的経費が算定される。

①専任教員等給与費(×人数)	
(a)年間標準給与額	5,731,000円
(b)退職金財団掛金標準経費	349,000円
②専任職員給与費(×人数)	
(a)年間標準給与額	3,601,000円
(b)退職金財団掛金標準経費	218,000円
③非常勤教員給与費(×総コマ数)	
1コマ当りの標準経費	3,400円
④教職員福利厚生費(×人数)	
(a)労災保険標準経費	教員 17,000円 職員 10,000円
(b)私学共済標準経費	教員 244,000円 職員 152,000円
⑤教育研究経常費(×人数)	
(a)専任教員一人当たりの校費	1,999,000円
(b)学生一人当たりの校費	院生 257,000円 学生 61,000円
⑥厚生補導費(×学生数)	
(a)学生指導等の経常的経費	3,900円
(b)学生指導等に要する教員旅費等	3,900円
⑦研究旅費(×人数)	
専任教員等の国内分の研究旅費	74,000円
*①~⑦の合計額が経常的経費となる。(各標準経費より平均給与および掛金・実施経費が低い場合は、低い額を採る)	



2. 補助金の基準額の算定

専任教員等給与費を始め7項目について算定した経常的経費の50%(もしくは40%)を補助金の対象とし、その合計額が補助金の基準額となる。

- ①(専任教員等給与費の額) × (5/10)
- ②(専任職員給与費の額) × (5/10)
- ③(非常勤教員給与費の額) × (4/10)
- ④(教職員福利厚生費の額) × (4/10)
- ⑤(教育研究経常費の額) × (5/10)
- ⑥(厚生補導費の額) × (5/10)
- ⑦(研究旅費の額) × (5/10)
- \*①～⑦の合計額が補助金の基準額となる。



3. 補助金の基準額の調整

補助金の基準額は、一定の評価基準により140%から1%に調整・補正される。

補助金の基準額は、①(b)②(b)④(a) (b)⑥(b)を除き、次のように調整・補正される。

調整

- A. 定員に対する在籍学生数の割合 (構成比 30)
- B. 専任教員等一人当たりの学生数 (構成比 20)
- C. 学生納付金収入に対する教育研究費支出および設備関係支出の割合 (構成比 50)

\*指標に基づき A, C については130%~20%, B については130%~30%の範囲に10%単位で調整される。この段階で補助金の基準額は130%~22%に調整される。

補正 1

C の調整係数は奨学事業の実施状況により、1%~10%加算される。

補正 2

C の調整係数が40%以下の学校は教員および職員の給与指数に応じ、各2.5~7.5%減点。

補正 3

- ・自己点検・評価過去5年間未実施…3%減点
- ・財務内容未公開…2%減点
- ・繰越消費収入超過額により…2.5%~50%減点

\*調整・補正の結果、補助金の基準額は140%~1%に調整される。

- ・坂口喜史夫先生 (デンタルインプラント木曜会)  
平成 16 年 7 月 22 日寄贈  
口腔インプラントの研究に対して 300,000 円也
- ・角 崇寿氏 平成 16 年 9 月 14 日寄贈  
学術研究奨励基金として 30,000 円也  
(角氏の寄贈は本院・口腔外科での診療のお礼として)
- ・大阪歯科大学第22回卒業生 (甲寅会)  
卒業 30 周年を記念して 平成 16 年 10 月 9 日寄贈  
学術研究奨励基金として 300,000 円也



学位 (博士) 授与報告



- 黒田 卓 乙第1448号 (平成16年12月22日)  
顎骨骨膜下腫瘍から分離した細菌の粘性物質産生性
- 白井健雄 乙第1449号 (平成16年12月22日)  
各種口臭消臭剤の効果について
- 岸田陸彦 乙第1450号 (平成16年12月22日)  
Measurement of precise finger manipulations on a high-speed cutting simulator (高速切削シミュレータによる指先の運動制御の計測)
- 岩本圭司 乙第1451号 (平成16年12月22日)  
被膜厚さとThermal stressが接着性レジンセメントの象牙質に対する引張接着強さに及ぼす影響
- 坂本吉史 乙第1452号 (平成16年12月22日)  
In vivoにおけるQLFによる早期う蝕診断に関する研究 -初期う蝕病巣の定量評価について-
- 大塚秀人 乙第1453号 (平成16年12月22日)  
In vivoにおけるQLFによる早期う蝕診断に関する研究 -初期う蝕病巣の一年間の追跡結果について-
- 光山 誠 乙第1454号 (平成16年12月22日)  
歯肉の粘膜骨膜弁剥離後にみる骨膜の新生血管と骨組織修復との微細形態的研究
- 棕 誠二 乙第1455号 (平成16年12月22日)  
Effect of electrical stimulation of vagal afferents on trigeminal nociceptive neurons in the intralaminar nucleus of the thalamus (視床髄板内核の三叉神経性侵害受容ニューロン活動に及ぼす迷走神経電気刺激の影響)



寄 贈



下記の寄贈を受けましたので報告します。寄贈いただいた各位には心より感謝いたします。

平成 16 年度 教職員懇親旅行  
 旅行委員長 北條 博一

本年度の教職員懇親旅行は、できるだけ多くの方が参加していただけるよう、またこの行事の目的に沿うよう、3コースを準備しました。各コースともそれぞれの担当委員は欲張った内容を具体化するため、また実施当日のお世話までお互いに協力し、無事終了することができました。

参加者には行き届かなかった点もあったことと思いますが、各委員の努力に免じてどうかお許しください。各コースの思い出を担当委員から報告いたします。

**A コース「秘境祖谷と琴平温泉」**

旅行委員：岡村英幸(文)、大上 登、尾形圭五、加地公夫、井上加代子、中井 円

9月18日、19日の二日間にわたって、四国路徳島・香川両県を訪ねるバスツアーが催されました。思い出いっぱいの全行程を順を追って振り返ってみました。  
 < 1日目 >

1. 出発～渦の道

朝8時45分に天満橋を44名参加のバスが出発。途中、恒例のビアパーティーで盛り上がっている間に11時鳴門市に到着。「うづ乃屋」にて鯛めしの昼食。食後、

大鳴門橋・渦の道にて渦潮見物。真上から見る海峡の激しい潮の流れを、ただただ堪能しました。

2. うだつの町

徳島道に入って美馬郡脇町へ。ここは「藍取引」を中心として江戸時代より栄えた商人の町で、国の保存地区に指定されている。古い町並みを、町のボランティアガイドの方々に案内していただき見学しました。有名な「うだつ」の実物や「うだつをあげる」の由来の説明を受け、学ぶことも多かった。また、はからずも本年夏の台風・大水による被害の名残を、町を流れる大谷川にかかっていた橋に見ることができたのも印象的でした。

3. 大歩危川下り

脇町を出て池田町からバスは山間部へ入り、有名な吉野川上流の大歩危小歩危を目指しました。大歩危でバスを降り、約30分の川下りを楽しみました。生憎と小雨が降る天候でしたが、間近に見る奇岩の迫力に一同は圧倒されました。すばらしい溪谷美を背景に記念写真撮影と平家落人伝来の土産物を購入しました。

4. 琴平温泉

午後6時に琴平温泉に到着し、四国一を誇る温泉旅館「琴参閣」に宿をとりました。「讃岐の間」において宴会が催され、一同大いに飲み、食べ、歌い、痛快なひと時を過ごしました。



< 2日目 >

5. 金刀比羅宮

朝食後、金刀比羅宮を参拝。有名な石段を登りつめた本宮からの眺めは格別で、今回の旅行の中でも最も印象に残る景色でした。また、今年は33年に一度の「大遷座祭」の年にあたり、奥書院をはじめ普段見ることのできない秘物の数々が特別公開されており、貴重な美術品を鑑賞しました。

本宮参拝後は、さらに石段を登って奥の院へ詣でる方、早めに下に降りて名物「さぬきうどん」など土産物を買求める方、あるいは宿に戻って再度入浴される方など、出発までの時間を各人思い思いに過ごしました。

6. 栗林公園

琴平町を出発し高松市へ。特別名勝に指定されている「栗林公園」を愉快的ガイドさんの案内に従って散策しました。この時も雨が降っていたのですが、雨にうたれた松の緑がかえって眼に鮮やかで、趣深かったです。

7. 昼食～海賊市場～帰阪

栗林公園散策後、名勝「屋島神社」のそばにある「わら家」にて昼食。名物の讃岐うどんをおいしくいただきました。帰路の途中、海産物店「海賊市場」に立ち寄り、お土産物として新鮮な瀬戸内海の魚介類を物色。

この際、徳島・香川両県同窓会よりいただきましたご支援を、お土産の詰め合わせ(ジャコ・小エビ・ワカメ)として参加者全員に配布しました。帰路は淡路島で一度休憩をはさみましたが、思ったより早く午後5時30分に天満橋に到着しました。

< 総括 >

二日間の限られた日程の中に、盛り込めるだけの観光地・イベントを盛り込み、参加者の皆さんにも満足いただける旅行であったと思っています。移動の車中、食事・宿泊中における参加者へのサービスも、各委員の事前の準備が奏功し、特に大きなトラブルもなく実施することができました。もちろん、万事に手抜かりがなかったとは言えませんが、至らなかつた点多々あったとは思いますが、道中、各委員に対し取り立てて大きな不満が出なかつたことで救われました。

Bコース「やすらぎの日曜日」

旅行委員：上村 守(文青)、原川奈梨、中塚美智子、城山明宏、石松恭子、仙波友美

12月5日(日)に「美術館特別展」と「ルミナス神戸2～豪華クルージングパーティー」の旅が催されました。参加者は76名でした。

午前中に兵庫県立美術館特別展「Universal Symbol of Brand<ルイ・ヴィトン>時空を超える意匠の旅」



クルージング&グルメ ルミナス神戸2乗船記念



⚓ 🍷 クルージング&グルメ ルミナス神戸2乗船記念 🍷 ⚓

を鑑賞しました。「ルイ・ヴィトン」は日本でも大人気のブランドで、旅行かばん専門店として創業以来、確かな技術と独自の華やかなデザインで躍進を遂げてきました。学芸員の説明でその歴史を学び、展示品の数々と星と花に似た文様に創業者の「L」と「V」を組み合わせたモノグラム柄のデザインに皆さん魅了されたようでした。

その後、「ルミナス神戸2～ダイナミック・ベイクルーズ(明石海峡周遊クルージング)」を楽しみました。前日は雨模様で心配しましたが、当日は見事晴れ渡り、風が少し冷たく波も高かったのですが、オープンデッキから見上げる明石海峡大橋はまさに絶景でありました。また、マンドリン奏者の大西功造さんとピアノ奏者の戸川晃子さんを特別ゲストとしてお招きし、「北の国から」や「はじめから今まで(『冬のソナタ』より)」などを演奏していただき、全体的に芸術色豊かな旅行となりました。

最後に、旬の食材などを賞品とした抽選会を行い、大いに盛り上がりました。参加者全員にお土産として神戸のお菓子を持って帰っていただきました。

<総括>

ランチバイキングは量が少々足りなかったという声もありましたが、全体的にはこれまでにない非日常的な企画で好評でした。また、抽選会の賞品も趣向を凝

らしたものが多く、皆さんにたいへん喜んでいただきました。

**Cコース「観劇とお食事会」**

旅行委員：尾形 五(文書)、山田市、中原しゆ湖、南出恭一、小野玲子、中辻とき

12月18日(土)、当日は冬にしては穏やかな日となり、12時に旅行委員が集合した頃には、このコースを楽しみにしておられた参加者が、大阪MBS劇場前に大勢集まっておられました。12時15分から参加者の希望にできるだけ沿うよう、チケットを順次配布しました。開演時間になっても来られない方が15名もおられ、気をもみながら待ちましたが、その後到着されたのは2名だけでした。

劇団四季の「アイダ」は、これまでのオペラとは異なる斬新な演出と出演者の熱演で、3時間がアツという間に過ぎてしまいました。途中休憩の時には、皆さんそれぞれ興奮した面持ちで、舞台やストーリーについて話をしておられたようです。

午後4時、恋物語の余韻覚めやらぬまま、旅行委員の誘導でお隣の松下IMPビル26階「パノラマスカイレストランアサヒ」に移動しました。始めに、佐川理事長ならびに川添副学長にご挨拶をいただき、井上副病院長の乾杯のご発声で開宴しました。宴の途中、所用



「新潟県中越地震」被災者救援金

総額406,688円集まる～ご協力ありがとうございました

先の「新潟県中越地震」に伴い、本学では11月2日(火)から30日(火)まで楠葉学舎守衛室等に募金箱を設置し、被災者救援金の募集をしてみました。教職員の皆様および学生たちのご協力により、総額406,688円の救援金が集まりましたことをご報告いたします。

ご協力いただきました各位には、心より感謝申し上げます。

なお、救援金は日本赤十字社を通じて新潟中越地震被災者救援本部へ送られ、被災者の救援活動にあてられます。

平成 16 年度 第 6 学年父兄会開催

毎年12月中旬に実施している6学年単独の父兄会であり、今年は12月11日(土)午後1時より、楠葉学舎1号館1階第1大講義室において開催された。

当日は、今井久夫学長の挨拶、大野 榮父兄会幹事長の挨拶に続き、小谷順一郎学年指導教授から卒業を控えたこの時期の過ごし方、卒業後の進路、歯科医師国家試験に向けての心構え、また、卒後臨床研修歯科医師制度や6学年の今後卒業までの日程等についてのきめの細かい説明がなされた。

その後、第2大講義室において学年指導教授を中心に各助言教員の先生方と父兄および学生も交え、三者懇談で就学状況・進路について熱心に懇談された。

なお、当日出席されたご父兄は62名であった。

また、同日午後2時から第5学年の父兄会も開催され、68名の父兄が出席された。

第6学年父兄会次第

- 1. 開 会 大学事務部長 上田 実
- 1. 挨 拶 学 長 今井 久夫
- 父兄会幹事長 大野 榮
- 学生部長 新池 孜
- 1. 説 明 学年指導教授 小谷順一郎
  - ・進路説明
  - ・国試対策
  - ・今後の日程
  - ・国試日程
- 1. 父兄懇談会 各助言教員と面談

平成 16 年度 教職員忘年慰労会

恒例の教職員忘年慰労会が、12月28日(火)午後3時から天満橋学舎本館14階のレストラン「プラザ14」で開催され、250名を超える教職員が参加した。

最初に、佐川理事長から開宴の挨拶があり、様々な出来事のあった今年1年を振り返り「教職員に更なる結束と協力」を求めた。続いて、今井学長の乾杯の発声とともに慰労会は賑やかに始まった。今年、「プラザ14」も趣向を凝らし、専門店から新鮮な「舟盛り」を取り寄せ、たこ焼きの有名店「和楽路屋(わらじや)」も出張出店し、出来立て・アツアツのたこ焼き・お好み焼きに人気が集まった。

各種賞品を取り揃えたお楽しみ抽選会では、理事長賞(旅行券)は3月に定年退職を迎えられる外科学講座の毛利教授、学長賞(商品券)は口腔外科学第一講座の田伏先生が当選された。最後に、新しく理事に就任された井上教授から閉会の挨拶があり、随時散会した。



平成16年度 教職員忘年慰労会

大阪歯科大学歯科衛生士専門学校  
牧野校舎竣工式

大阪歯科大学歯科衛生士専門学校  
校長 矢尾 和彦



平成16年10月5日(火)、本学歯科衛生士専門学校  
牧野校舎の竣工式が、佐川寛典理事長を始め37名の  
方々のご列席の下、齋主片埜神社により執り行われま  
した。



神事に続き、参列者の皆様に装いも新たになった校  
舎を見学して頂き、牧野校舎食堂において施主・佐川  
理事長から工事関係者に感謝の言葉とともに感謝状が  
贈られました。引き続き、村上 勝常務理事の乾杯の  
ご発声で直会が催されました。

思い起こすと、2年前の平成14年9月に三年制養成  
への移行をご許可頂きましたのが、つい昨日のことの  
ように思われます。平成17年4月には、新しい歯科衛  
生士学校養成所指定規則が施行されますが、その時期  
にあわせて三年制養成を開始できますのは、ひとえに  
佐川理事長のご英断の賜であり、心から感謝申し上げ  
ます。

工事全体につきましては、準備委員会において村上  
常務理事を始め委員の先生方に予算から学校の規模・  
設計に至るまで、詳細にわたるご指導を仰ぎました。

実行委員会では、古跡前学長を始め委員の方々に機器  
備品の細目に至るまでご検討とご指示を頂きました。  
また、15回にも及んだ工程会議では、大学法人の田中  
部長・上田部長・前野部長・前田課長を始め関連部署  
の方々にご出席を頂き、工事の進捗にあわせて貴重な  
ご指示やご意見を頂戴しました。

本年2月に始まった工事は、9月末までに完成とい  
う厳しい条件の中で、ケンショーシミズ・信和工務  
店・きんでん・モリタを始め多くの関連企業の方々に  
精一杯のお仕事をして頂き、無事に竣工の日を迎える  
ことができました。

このような立派な学校施設を使わせて頂くことは、  
本校にとって無常の光栄であり、最高の喜びでありま  
す。専門学校の教職員一同は力を合わせて、学校のさ  
らなる発展を目指して努力を重ねていく覚悟です。

お世話になりました皆様に、この場をお借りして深  
甚なる謝意を表します。



チェアー実習室



歯科衛生士専門学校牧野校舎正面入口

大阪歯科大学歯科技工士専門学校  
創立40周年記念行事開催

大阪歯科大学歯科技工士専門学校  
校長 末瀬 一彦



昭和39年(1964年)、歯科医療界に貢献すべく重責を担って、大阪歯科大学歯科技工士専門学校が牧野学舎に創設されてから、本年(2004年)で40周年を迎える。創立40周年を記念して、平成16年11月13日(土)牧野学舎内アネックスおよび学生ホールにおいてささやかではあるが、厳粛かつ和やかな記念行事が開催された。



当日は、午前11時から記念講演会として、プロ野球解説者の江本孟紀氏に「プロ野球おもてうら」と題してご講演を賜った。講演では、今話題のプロ野球改革論の裏話や日米独立リーグ発足への期待、阪神タイガース再生論、大阪復興への熱意など独特の「エモヤン節」を拝聴させていただき、超満員の会場は終始にぎやかに沸いた。



江本孟紀氏

午後12時30分より記念式典に入り、三宅準備委員の進行により、杉上準備委員長の開式の辞、国歌斉唱と続き、学校法人大阪歯科大学を代表して佐川寛典理事長から式辞が述べられた。

佐川理事長は「不透明で厳しい社会情勢のなかにある歯科界は、少子高齢化社会へと進むその対策として8020運動や高度先進医療における健康増進法が叫ばれ、さらに、それに伴う歯科技工の技術開発が要求される時代であり、その対応こそ先端技術に直結した国民の望む医療である。大阪歯科大学歯科技工士専門学校は、素晴らしい自然環境に恵まれた教育研究施設を有することを誇りとして、先端技術教育研究の徹底と、生命共同体として学校法人大阪歯科大学のアイデンティティの創造と確立にご協力とご支援をお願いしたい」と語られた。



佐川理事長

また、私は校長として挨拶し「40年を振り返って、

初代中村俊一校長、2代目玉置敏夫校長のリーダーシップのもと、わが国の歯科技工士教育の基盤が築かれ、また本校の歴史と伝統を着実に育んでこられたことへの敬意と大阪歯科大学をバックボーンにもち、歯科技工を研鑽するための教育設備、教員スタッフなど抜群の環境にある本校の役割を十分認識し、わが国の歯科技工士教育のリーダー的役割を担い、さらなる発展のための着実な努力と研鑽をはかる決意」を述べた。

40周年 記念祝賀会



挨拶する末瀬一彦校長

このあと来賓祝辞として、宮川藤一郎関西地区歯科技工士学校連絡協議会会長、中西茂昭日本歯科技工士会会長、今井久夫大阪歯科大学学長から心温まるお祝いのお言葉が贈られた。本式典にご出席いただけなかった関係各位からの祝電披露の後、本校10年以上の永年勤続者に対して感謝状が授与された。感謝状と記念品は佐川理事長から永年勤続者を代表して北條博一先生に渡された。厳粛に進行した記念式典も木本準備委員の閉式の辞をもって滞りなく、終了した。

続いて午後1時30分より、学生ホール2階に場所を移し、記念祝賀会が開催された。開宴の辞として末瀬から「今回の記念行事へのご臨席とご支援の御礼、同窓生を交えた記念祝賀会での懇親の実を高めていただきたい」との挨拶の後、公務ご多忙のなかご臨席を賜った中司 宏枚方市長、村上 勝法人常務理事、林 秀彦奈良県歯科医師会会長、阪 秀樹日本歯科技工学会会長、速見 憲大阪府歯科技工士会会長、奥田純一本校同窓会会長からお祝いや励ましの温かいお言葉をいただいた。



村上常務理事

記念祝賀会の乾杯は、長年にわたって本校を愛し、

# ODU NEWS No.136

育て、守ってこられた玉置敏夫名誉校長の発声により行われ、和やかな親交が始まった。会場のあちこちでは本校卒業の同窓生の昔話が飛び交い、また近隣の歯科技工士学校の関係者や関連企業の皆様方との懇親の輪も広がった。



今回の創立40周年をお祝いするにあたっては、本校教職員が一丸となって手作りの記念事業を心がけ、記念誌は短期間で全力を挙げて編纂し、記念講演会、記念式典ならびに記念祝賀会の企画も準備委員会をたびたび開催し、質素ながらも充実した内容にすることを基本方針とした。そして会場は本校が創立された牧野の地において開催することにより、これまでご支援賜った先輩諸氏ならびに同窓生に思い出を一層喚起してもらえるよう考えた。教職員の努力の結集により、記念行事を滞りなく開催できましたが、これもひとえに200名を越すご来賓ならびに同窓生、関連企業各位のご臨席を賜ったおかげであると心から厚く感謝申し上げます。

創立40周年の節目にあたり、これまでの諸先輩諸兄の絶大なご尽力とご苦勞に感謝申し上げますと共に、「大阪歯科大学歯科技工士専門学校」の歴史と伝統を守り、さらなる発展に向けて着実に新たなる一步を踏み出します。

西安第四軍医大学創立50周年  
記念式典参加と  
中国人民解放军「第306医院」招聘訪問  
庶務課課長 牧谷 弘幸



西安第四軍医大学はシルクロードの玄関口として知られている古都西安に位置し、本学が中国で学术交流協定を結んでいる5大学の一つである。その西安第四軍医大学が創立50周年を迎え、平成16年10月15日(金)に記念式典が行われた。この記念式典に本学から今井久夫学長、川添堯彬国際学术交流委員会委員(現副学長)、諏訪文彦国際学术交流委員会委員長、方一如国際学术交流委員会委員および牧谷庶務課長の5名が派遣された。



10月14日(木)に関西国際空港を飛び立ち、北京国際空港で中国国内便に乗り継ぎ、西安威陽国際空港に到着したのはすでに夕刻であった。現地到着後、祝意を伝えるため直ちに西安第四軍医大学を訪問し、陳祥才校長、孫長新政治部委員らの熱烈歓迎をうけた。

翌、10月15日(金)記念式典当日の早朝、前日お会いした陳祥才校長を始め西安第四軍医大学関係者との正



西安第四軍医大学口腔医学院新病院前で記念写真(中央に余紹明医院長と今井学長)



# ODU NEWS No.136

## 大学院教員

### 任用

大学院教授		清水谷公成
大学院講師	井辺 弘樹, 原 直仁	
大学院助手		原川 奈梨
		以上 H. 16. 10. 1付

### 委 嘱

平成17年度予算委員会委員長	田治米保夫
平成17年度予算委員会委員	

今井 久夫, 大東 道治
村上 勝, 田中 昭男
新田 孟, 田中佐和子
川本 達雄, 上田 実
新池 孜, 前野 隆
川添 堯彬, 吉田 敏昭
大浦 清

以上 H. 16. 4. 1付

ブラッシュアップ委員会委員	板垣 恵輔
	H. 16. 9. 1付

医の倫理委員会委員長	覚道 健治
	H. 16. 10. 14付

財務企画委員会委員	井上 宏
	H. 16. 11. 25付

財務企画委員会経営部会部会員	井上 宏
	H. 16. 11. 25付

大阪歯科大学創立95周年記念行事 企画委員会委員	井上 宏
	H. 16. 11. 25付

自己点検実施委員会委員長	今井 久夫
自己点検実施委員会委員(病院部門)	川添 堯彬
	以上 H. 16. 11. 25付

広報委員会委員長	川添 堯彬
広報委員会委員	松村 誠一, 田中 修 安藤 孝幸
	以上 H. 16. 11. 25付

### 講師(非常勤)委嘱

口腔診断科	北條 博一, 辰巳 浩隆 米谷 裕之, 三ヶ山茂樹 辻 一起子, 大西 明雄
	以上 H. 16. 10. 1付

## 雑 報

### 住所変更

歯科麻酔学講座 百田 義弘  
〒591-8008 堺市東浅香山町4-1-15-6-2405  
TEL 072-251-7466

### ～ご結婚おめでとうございます～

附属病院 歯科衛生士 坂田 裕美 (旧姓 石田)

### ～お悔やみ申し上げます～

医事第二課 森田 恭生 ご尊父様逝去  
歯科保存学講座 井上 昌孝 ご尊父様逝去

## あ と が き

### —余談—

西日本私立大学振興協議会第36回例会の講演で早川先生は「笑う人はボケにくい」という話をされましたが、人により笑い方も千差万別で、講師の洒落に瞬時に反応し大声をあげて笑う人、声を抑えてクスクスと笑う人、周りを気にしながら反応する人、外見上は何の反応も見せない人、などなど。早川先生が言われる「笑う」という行為は、自分の外側・外部に対して好奇心をもち反応しているわけで、心を外に向けて開いている状態にあると言えます。一方、笑わない人とは、心が自分の外側に向かうのを拒否している状態の人とも言えるかもしれません。笑いを忘れると、内向的になり、他者とのコミュニケーションを避け、視野が狭くなりがちです。若者の中で流行の「ジコチュウ」ということも、案外この「笑いの喪失」と関係しているかもしれません。

「笑い」ということで思い出したことがあります。今はもう退職された先輩から、その先輩の送別会の席で突然、「君たちは笑顔がいい」と言われたのです。お酒もほどよく回り、和やかな雰囲気です。思い出話に花が咲いていたときで、どういう経緯でそう言われたのかは思い出せません。屈託なく話す、愚かな後輩たちに対し、ほめる言葉に屈して自然とそのように表現されたのかも知れません。しかし、その一言が今も印象に残っています。



懇親旅行スナップ写真  
 (上) (右下) 香川・栗林公園  
 (左下) 徳島・鳴門海峡  
 写真提供  
 施設課 前田課長

中央の髭の紳士は口腔診断科・北條先生



名物の渦潮は残念ながらあまり見られず



先頭に行く案内嬢(?)の弁舌は見事の一言

「笑い」は、人間に与えられた宝物かもしれません。宝物であれば、大切にしなければなりません。大切にと言っても、しまっておいては役に立ちません。また、宝物をいくら集めても意味はありません。宝物は使わ

なければ、何の意味も、値打ちもありません。宝物を人に与える人、その人こそ宝物です。

一日一生。そして、一日一笑。

大阪歯科大学広報 第 136 号  
 発行日 平成 16 年 12 月 28 日  
 編集発行 広報委員会  
 〒573-1121 枚方市楠葉花園町 8-1  
 電話 072-864-3111